

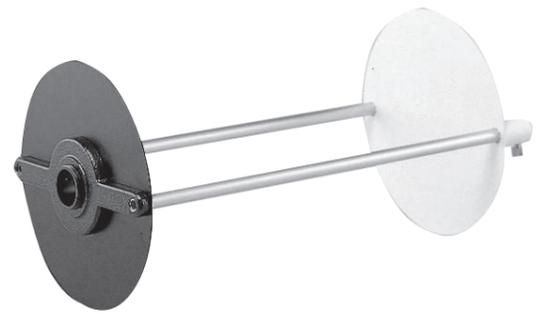
ご使用方法

- ① 観察に使用する以外の鏡筒は対物レンズにキャップを取付けてください。ファインダーの対物レンズにもキャップを取付けてください。※取外したまま観察するとやけどを負ったり火災の原因となることがあります。
 - ② 太陽を導入します。望遠鏡の向きをおおよそ太陽の方向に向け、地面に写った望遠鏡鏡筒の影が一番小さくなるようにすることで太陽を導入できます。導入すると、太陽投影板が明るく照らされるようになります。
- ⚠ 警告**
太陽を導入する際、絶対にファインダーを使用しないでください。ファインダーを通して太陽を見ると失明の危険があります。
- ③ 合焦ハンドル(ピントハンドル)でピントを合わせます。
 - ④ 投影板上の太陽像の大きさを変える場合は、スクリーン板を動かして接眼レンズとの距離を変えます。大きな像にしたい場合は距離を離し、小さくしたい時は距離を縮めます。太陽像全体を映す場合、50倍以下になる接眼レンズを使用します。

Vixen®

太陽投影板 Bセット (60mmネジ装備屈折式鏡筒用) 取扱説明

- 太陽観察の際、スケッチをとりやすいようにするためのアクセサリです。
- 安全に太陽の様子を観察することができます。



株式会社 **ビクセン** 〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢 5-17-3
 [代表] TEL: 04-2944-4000 FAX: 04-2944-4045
 [ホームページ] <http://www.vixen.co.jp>

56キ-5-(9000)-15-50-(1) (M)

はじめに

このたびは、ビクセン天体望遠鏡アクセサリ「太陽投影板Bセット」をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。また、各鏡筒の説明書も併せてお読みください。

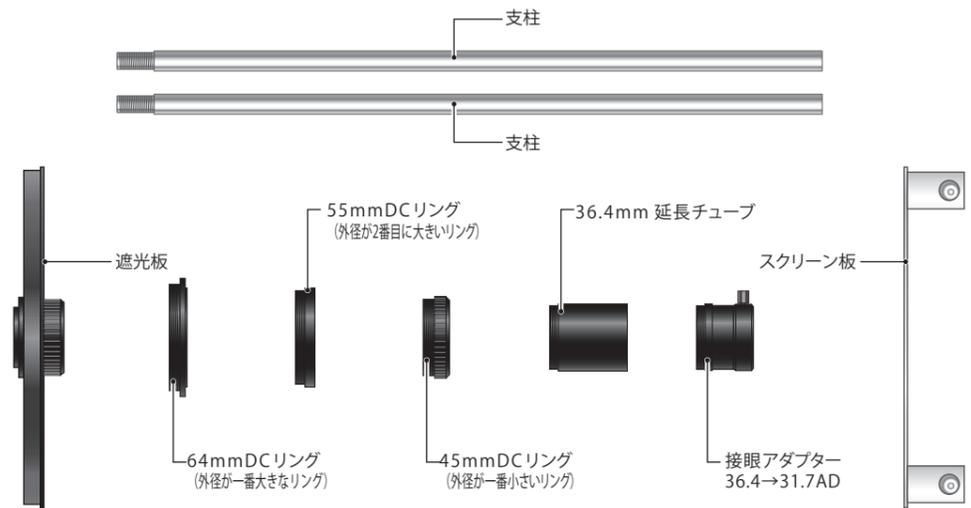
⚠ 警告 太陽を見てはいけません。失明の危険があります。

- ⚠ 天体望遠鏡、極軸望遠鏡、ファインダー、接眼レンズなどで太陽を絶対に見てはいけません。失明の危険があります。
- ⚠ 太陽投影板を使用する時は、太陽観測中、接眼レンズと投影板との間に顔、手など体の一部を入れてはいけません。失明、火傷をする危険があります。
- ⚠ 太陽観測を中止する場合は、一時的のことであってもかならず望遠鏡にキャップを取りつけてください。また観測中は絶対に炎天下に望遠鏡を放置しないでください。不慮の事故により火災が発生する危険があります。

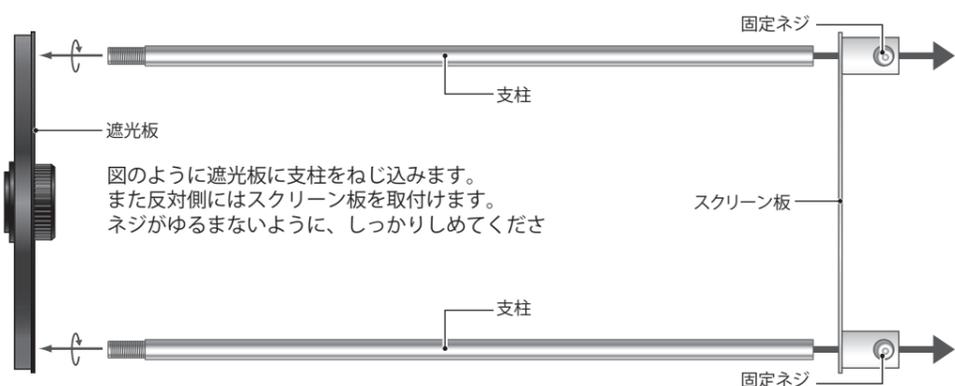
対応接眼レンズ

31.7mm径のNLVシリーズ接眼レンズ、LVシリーズ接眼レンズ (ZOOMを除く)、NPL、PLシリーズ接眼レンズを使用してください。

内容物

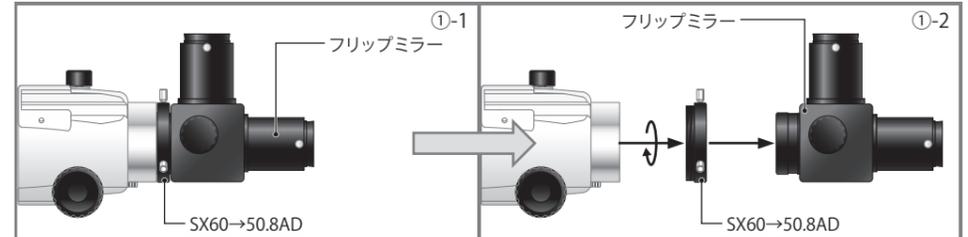


組立て方

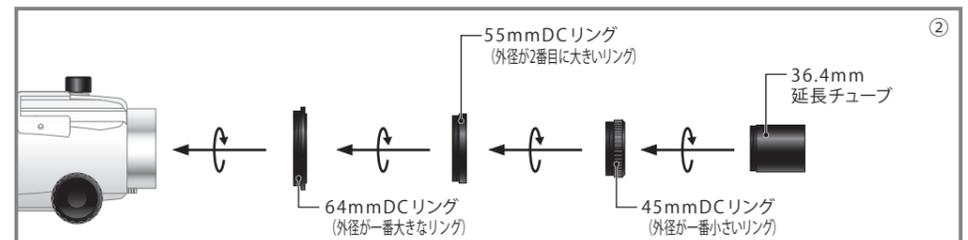


望遠鏡への取付方法 ①~②

① 鏡筒からフラップミラーおよびSX60→50.8AD (鏡筒にねじ込まれています) を取外します。

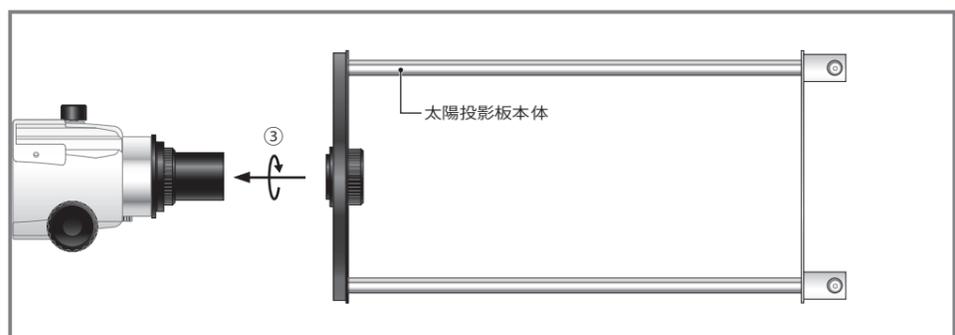


② 図のように、64mm DCリング、55mm DCリング、43mm DCリング、36.4mm延長チューブの順でねじ込み、取付けます。ゆるまないようにしっかりねじ込んでください。



望遠鏡への取付方法 ③

③ 「太陽投影板本体」をねじ込みます。
ゆるまないようにしっかりとねじ込んでください。



望遠鏡への取付方法 ④~⑤

④ 接眼アダプター36.4→31.7ADを、ゆるまないようにしっかりとねじ込んでください。

⑤ 31.7mm径接眼レンズを接続して使用してください。ピント調整は合焦ハンドル (ピントハンドル) を回しながら行います。

